

奈良県吉野町における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和4年度	令和5年度	計	令和5年度末 時点の活用率	未執行額の利用方針
活用額（円）	74,789,080	46,532,246	121,321,326	90%	施業が放置された森林の間伐事業等、森林の 公益的機能の維持・向上に向けた取組に利用
譲与額（円）	102,390,000	32,630,000	135,020,000		

■令和5年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	人工林の整備等	23,583,400	23,583,400	森林所有者との協定に基づき約37haの間伐、延長149mの未整備森林整備事業等を実施した。
森林整備	森林整備の準備作業	16,039,100	16,039,100	大字6地区の意向調査や約900haの森林地番参考図を作成した。
人材育成	市町村体制の確保	6,909,746	6,909,746	奈良県フォレスターの受け入れを実施した。
基金取崩		13,902,246		（吉野町）森林環境整備促進基金
合計		46,532,246	46,532,246	

■今後の実施計画

①人工林の整備

意向調査を活用し、協定に基づく施業放置林間伐事業等を推進する。
年間40ha程度を目標とする。

②森林整備の準備作業

令和10年を目標として、森林経営意向調査の全域実施に取り組む。
また、意向調査の付帯事業として、森林所有者情報の整理や森林地番参考図等の作成に取り組む。

■森林整備の状況

【未整備森林整備事業】

道路沿いの支障木を伐採、中低木の植林を実施。

